



## ブーメランはなぜもどるの

**ブーメランの断面は、飛行機のつばさに似ている**

ブーメランは、オーストラリアの、原住民の間で使われていた、鳥や小さな動物などをとる道具でした。今では、おもちゃやスポーツとして、いろいろな国の人たちに、使われています。

ブーメランの断面は、飛行機のつばさによく似ていて、回転するように投げると、空気の流れによって、輪をえがくように飛び続け、やがて、投げた所にもどってきます。

**羽根の形や投げ方で決まる**

ブーメランは、投げる方向や角度、投げ方によって、飛び方がちがいます。飛んでいるブーメランは、中心をかたむけながら、回転して飛び続けます。このときに起こる、空気のはたらきが、ブーメランの形によって変わります。

ブーメランの中には、投げた所に、もどらないものもあります。ブーメランが、投げた所にもどってくるのは、ブーメランの形が、よく回転して投げた所にもどるような形や、断面になっていることと、投げる方向や、角度をじょうずにすることです。

(監修・青木 国夫)

